



木曾ひのき 東濃ひのき

東濃森林管理署では、平成31年度より管内の国有林野から生産される林齢80年生以上の高齢級人工林ヒノキについて、
良質な素材を

「**高** **国** 木曾ひのき(東濃)」(マルコウ マルコク キソヒノキ)

「**高** **国** 東濃ひのき」(マルコウ マルコク トウノウヒノキ)
と称して販売しています。

極印の押印

80年生以上の人工林ヒノキの内、

- ①長級4m以上かつ径級30cm以上の尺上材
- ②長級4m以上かつ径級24cmから28cmの中目材
ただし、①②のうち、曲材・多節材は除きます。
- ③極印は、3種類を使用します。

(左から林齢80~99年生、100~119年生、120年生以上)



東濃署管内の国有林面積は、21,111haを有しており、人工林率は45%となっています。人工林に占めるヒノキの割合は77%で、この内、80年生以上の高齢級ヒノキは約25% (約1,800ha、約621千㎡) となっています。

今後、75%を占める79年生以下の人工林ヒノキが順次生育し、高齢級ヒノキの蓄積が増えていきます。継続的に良質な木材の生産と販売に努めて参ります。

高齢級ヒノキの魅力的な特徴

東濃署管内の国有林から産出される高齢級人工林ヒノキは、

- ★年輪が緻密で狂いが少なく木目が美しい。
- ★東濃ひのきはピンク色でつやがあり、香り高く、製材品は「東濃ヒノキ」ブランドとして高い人気があります。
- ★木曾ひのき(東濃)は、木曾署や南木曾支署で生産される木曾ひのきの淡黄白色に近い色合いを呈するなどの特徴があります。

